



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月5日

上場会社名 アクセルマーク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3624 URL <http://www.axelmark.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾下 順治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務本部長 (氏名) 野口 仁 TEL 03-5354-3351
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	761	△12.2	△30	—	△33	—	△51	—
26年9月期第1四半期	866	△3.3	27	—	26	—	18	—

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 △51百万円 (—%) 26年9月期第1四半期 18百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	△11.89	—
26年9月期第1四半期	4.30	4.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第1四半期	1,953	1,533	78.5
26年9月期	2,029	1,585	78.1

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 1,533百万円 26年9月期 1,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年9月期第2四半期（累計）の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,696	△0.9	△67	—	△71	—	△91	—	△20.82

通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期1Q	4,370,900株	26年9月期	4,370,900株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	33株	26年9月期	33株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期1Q	4,370,867株	26年9月期1Q	4,370,900株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続の実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境としては、スマートフォンの高機能化と通信環境の最適化が進み、スマートフォン利用者の増加傾向が続いております。平成26年3月末におけるスマートフォンの普及率は54.7%に達し（内閣府消費動向調査）、人々の生活や消費スタイルに新しい変化を及ぼしております。モバイルコンテンツ市場におきましても、平成24年から平成25年にかけて前年比127%である1兆783億円の規模に拡大しており、特にスマートフォン等市場においては前年比224%である8,336億円の規模へ急拡大しております（一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ）。

このような市場環境の下、当社は今後もスマートフォンの普及とモバイルコンテンツ市場の拡大は続くと考えており、競争の激化はみられるものの、市場の拡大期に存在する大きな機会をとらえるために、モバイルインターネット領域を主要な事業ドメインと位置付けて事業展開をしております。モバイルゲーム事業においては、ネイティブゲームのヒット創出を目指し、新規タイトルの開発に注力いたしました。広告事業においては、運営体制を見直し、利益率の改善に注力いたしました。コンテンツ事業においては、スマートフォン向けコミック時間読みサービス「コミックルーム」の売上拡大に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高761,098千円（前年同期比12.2%減）、営業損失は30,481千円（前年同期は27,524千円の営業利益）、経常損失は33,114千円（前年同期は26,600千円の経常利益）となりました。特別損失に過去の配信コンテンツにかかわる訴訟和解金17,000千円を計上したことにより、四半期純損失は51,985千円（前年同期は18,773千円の四半期純利益）となりました。

各セグメントの業績は次の通りであります。

(モバイルゲーム事業)

モバイルゲーム事業につきましては、「Mobage（モバゲー）」などにおいて提供しているブラウザゲーム「天空のレギオン」など既存タイトルの売上は安定的に推移いたしました。また当社の運営するネイティブアプリ「反逆のシエルアーク」におきましても売上は堅調に推移いたしました。一方、スマートフォンを対象とした新規ゲームタイトルへの投資を拡大しており、人員の配置転換や不採算タイトルからの撤退により人的リソースをネイティブアプリの開発に集中させました。当第1四半期においては、開発が進捗し2タイトル（「大乱闘!!ドラゴンパレード」及び「ソウル オブ クリスタル」）で事前登録を開始いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は341,971千円（前年同期比29.7%減）、セグメント損失は2,525千円（前年同期は54,371千円のセグメント利益）となりました。

(広告事業)

広告事業につきましては、主力であるスマートフォン向けアドネットワーク「ADroute」の収益性を重視し、利益率の改善に努めてまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は310,264千円（前年同期比27.7%増）、セグメント利益は19,346千円（前年同期比10.0%増）となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン向けコミック時間読みサービス「コミックルーム」の立上げに注力しており、平成26年11月に大幅なバージョンアップを行い視認性と操作性の向上、配信作品数の拡大、効果的なプロモーション施策の導入を行い、売上拡大に努めております。その一方、フィーチャーフォン向けサービスからの売上は引き続き減少する傾向が続きました。

以上の結果、当セグメントの売上高は108,813千円（前年同期比22.1%減）、セグメント利益は2,436千円（前年同期比78.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、仕掛金が54,033千円増加したものの、現金及び預金が28,764千円、売掛金が84,266千円、のれんが27,628千円減少したこと等により前期末に比べて76,250千円減少し、1,953,084千円となりました。

負債については、その他の流動負債が34,515千円増加したものの、買掛金が12,777千円、未払法人税等が29,311千円、賞与引当金が16,382千円減少したこと等により前期末に比べて24,264千円減少し、419,809千円となりました。

純資産については、四半期純損失51,985千円の計上により、前期末に比べて51,985千円減少し、1,533,274千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

モバイルゲーム事業につきましては、既存のロングヒットタイトルにおいて、ユーザーに長く楽しんで頂けるためのゲーム内イベント等の施策を実施することで収益を維持し、今後リリースを予定している新規タイトルの開発投資を積極的に行い将来の収益拡大を目指してまいります。

広告事業につきましては、引き続きスマートフォン向け広告サービスの収益拡大に注力してまいります。

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン向けコミック時間読みサービスの拡大を目指してまいります。

平成27年9月期の業績予想につきましては、当社グループの事業を取り巻く環境が急速に変化しており、事業の成長速度を予測することが難しいことから、信頼性の高い通期の業績予想を算出することが困難なため、四半期毎に翌四半期の業績予想を公表させていただきます。

平成27年9月期第2四半期連結累計期間業績予想(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

売上高	1,696百万円(前年同期比0.9%減)
営業利益	△67百万円(前年同期は27百万円の営業利益)
経常利益	△71百万円(前年同期は26百万円の経常利益)
四半期純利益	△91百万円(前年同期は18百万円の四半期純利益)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,064,593	1,035,829
売掛金	521,045	436,779
仕掛品	45,328	99,362
貯蔵品	1,480	1,052
その他	56,958	62,778
貸倒引当金	△6,813	△247
流動資産合計	1,682,593	1,635,554
固定資産		
有形固定資産	19,504	18,641
無形固定資産		
のれん	259,291	231,662
その他	3,160	2,872
無形固定資産合計	262,451	234,535
投資その他の資産		
敷金及び保証金	64,784	64,353
その他	0	0
投資その他の資産合計	64,784	64,353
固定資産合計	346,740	317,530
資産合計	2,029,334	1,953,084
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,978	202,200
未払法人税等	32,215	2,903
賞与引当金	34,394	18,012
ポイント引当金	10,999	10,691
その他	151,486	186,002
流動負債合計	444,074	419,809
負債合計	444,074	419,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,116,770	1,116,770
利益剰余金	△95,527	△147,513
自己株式	△25	△25
株主資本合計	1,585,117	1,533,132
新株予約権	142	142
純資産合計	1,585,260	1,533,274
負債純資産合計	2,029,334	1,953,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	866,894	761,098
売上原価	521,712	509,398
売上総利益	345,181	251,700
販売費及び一般管理費	317,657	282,181
営業利益又は営業損失(△)	27,524	△30,481
営業外収益		
受取利息	—	297
還付加算金	98	—
その他	14	42
営業外収益合計	112	340
営業外費用		
支払利息	24	—
株式上場関連費用	965	1,293
支払手数料	—	1,500
その他	46	179
営業外費用合計	1,035	2,973
経常利益又は経常損失(△)	26,600	△33,114
特別損失		
訴訟和解金	—	17,000
特別損失合計	—	17,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	26,600	△50,114
法人税、住民税及び事業税	7,827	1,871
法人税等合計	7,827	1,871
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,773	△51,985
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,773	△51,985

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	18,773	△51,985
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	18,773	△51,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,773	△51,985
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業	広告事業	コンテンツ 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	486,146	241,101	139,647	866,894	—	866,894
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,900	—	1,900	△1,900	—
計	486,146	243,002	139,647	868,795	△1,900	866,894
セグメント利益又は損 失(△)	54,371	17,589	11,222	83,184	△55,660	27,524

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	83,184
のれんの償却額	△15,129
全社費用(注)	△40,530
四半期連結損益計算書の営業利益	27,524

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業	広告事業	コンテンツ 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	341,971	310,264	108,813	761,050	48	761,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	341,971	310,264	108,813	761,050	48	761,098
セグメント利益又は損 失(△)	△2,525	19,346	2,436	19,257	△49,739	△30,481

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	19,257
のれんの償却額	△15,129
全社費用（注）	△34,609
四半期連結損益計算書の営業損失	△30,481

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。